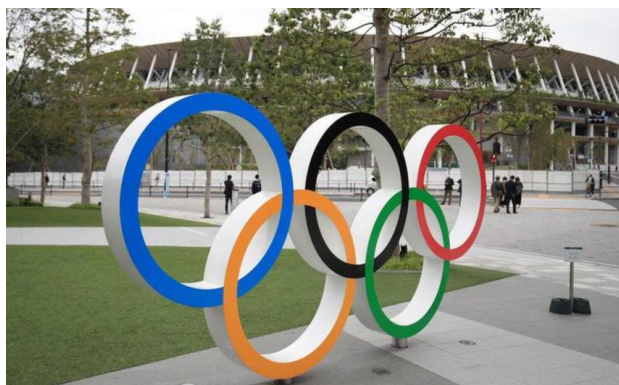
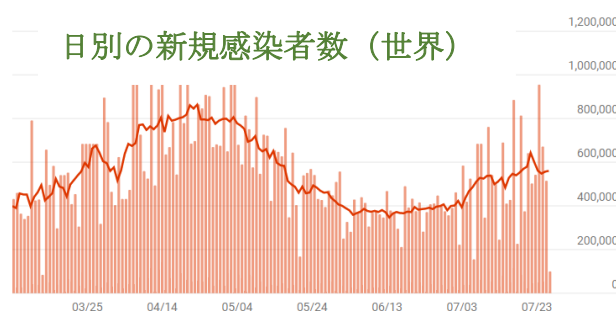


コロナ禍の中、東京に非常事態宣言が出されている中、東京オリンピック2020が開催されました。個人的には、卓球など楽しみにテレビ観戦を行っています。オリンピックが原因で感染爆発が起こらないことを祈るのみです。しかし頼みの綱のワクチンは、新潟市（保健所）が64歳以下の個別接種の新規予約を各医療機関にストップさせている状態が続いており接種開始ができていません。いつになれば接種を始められることやら…。ワクチンの効果は絶大で、医療機関や老人施設でのクラスター発生は全国的にほとんどなくなりました。一方でワクチン接種を受けていない若年層のクラスターが目立つようになりました。



さて、オリンピックが日本の感染急増の原因の一つになってはいると思いますが、世界を見ても全世界的に感染の波が現在押し寄せています。日本は、1日当たりの新規感染者が1万人くらいですが、アメリカは8万人、インド・イギリスが4万人、ブラジル・フランスが3万5千人となっています（8月1日時点）。また累計死者数は、世界の中でアメリカが一番多く61万3千人であり、このために2020年のアメリカ人の平均寿命は77.8歳と一昨年に比べて、1歳ほ

ど短くなりました。ちなみに日本は、男性の平均寿命が81.64歳・女性87.74歳であり男女ともに過去最高で、一昨年と比べ0.26歳寿命が延びています。コロナ対策のため他の感染症が減少したことも要因にあるようです。



今の東京の状況を見ますと、**新潟県・新潟市も、この8月は感染爆発を起こす可能性があると**思います。くれぐれも今まで行ってきた感染対策を継続していただいたうえ、県をまたぐ移動や、普段接していない方との会食などは、慎重に考えていただきたいと思います。テレビなどを見ていると若い方の危機感のなさが心配になります。若年者が新型コロナ感染にかかりお亡くなりになるようなことは特に防がなければならないと考えています。おそらくは、もう3～4か月の辛抱だと思います。何とかみんな感染収束を目指しましょう。

発行責任者；豊栄病院病院長 宮島 透